

別表4 実技検査課題等 (普通科体育コース, 音楽科及び美術科)

推薦入学 一般入学 第2次募集共通

〔1〕 波崎柳川高等学校普通科体育コース	
<p>ア 検査内容 (共通課題) 全員共通種目で下記の種目を課する。</p> <p>(ア) 30メートル走 (イ) ハンドボール投げ (ウ) 立ち幅跳び (エ) 反復横跳び (オ) 20メートルシャトルラン</p>	<p>イ 携行品 (ア) 受験票 (イ) 筆記用具 (ウ) 運動のできる服装 運動靴は<b>屋内用</b>のもので、床を傷つけないものを使用すること。 運動の服装に学校名・個人名が書かれている場合には、覆いなどをして見えないようにしておくこと。 (エ) 昼食 (一般入学 (2月27日実施) は除く。)</p>
〔2〕 中央高等学校普通科体育コース	
<p>ア 検査内容 (共通課題) 全員共通種目で下記の種目を課する。</p> <p>(ア) 30メートル走 (イ) ハンドボール投げ (ウ) 立ち幅跳び (エ) 反復横跳び</p>	<p>イ 携行品 (ア) 受験票 (イ) 筆記用具 (ウ) 運動のできる服装 運動靴は<b>屋内用</b>のもので、床を傷つけないものを使用すること。 運動の服装に学校名・個人名が書かれている場合には、覆いなどをして見えないようにしておくこと。 (エ) 昼食 (一般入学 (2月27日実施) は除く。)</p>
〔3〕 水戸第三高等学校音楽科	
<p>ア 検査内容</p> <p>(ア) 聴音記譜 (全受験者) 簡単な旋律を聴いて、五線譜に書き取る。</p> <p>(イ) 新曲視唱 (全受験者) 当日指定する簡単な旋律を楽譜を見て歌う。</p> <p>(ウ) 専攻別課題 (全受験者) 専攻したい部門別に課題を行う。(下記ウ 専攻別課題参照)</p> <p>(エ) ピアノ課題</p> <p>a 声楽、弦・管・打楽器の専攻部門を希望する者 各自の用意した任意のピアノ曲 (ソナチネ程度) をピアノで演奏する。(楽譜を見てもよい。)</p> <p>b 作曲の専攻部門を希望する者 各自の用意した任意のピアノ曲 (ソナタ以上) をピアノで演奏する。(楽譜を見てもよい。)</p>	<p>イ 携行品 (ア) 受験票 (イ) 筆記用具 (ウ) 演奏用楽譜 (エ) 専攻の楽器 (ピアノ、コントラバス、ハープ及びマリリンバを除く。ただし、弓、マレット類は持参すること。) (オ) 昼食及び上履き</p>
ウ 専攻別課題	
専攻部門	楽 器
声 楽	課 題 曲 及 び 課 題
ピ ア ノ	課 題 曲 及 び 課 題
声 楽	<p>(1) コンコーネ50番より「1番」を暗譜で歌う。(母音アで歌うこと。)</p> <p>(2) 成田為三作曲「浜辺の歌」の「1番」及び「2番」を暗譜で歌う。(調については指定しない)</p>
ピ ア ノ	<p>(1) ハノン第39番のシャープ、フラットそれぞれ2個までの長調と短調の音階を、暗譜で演奏する。なお、調は当日指定する。</p> <p>(2) ハイドン、モーツァルト又はベートーヴェンの任意のピアノ・ソナタの第1楽章か最終楽章を暗譜で演奏すること。(ただし、緩徐楽章を除く。)</p>



〔 4 〕 取手松陽高等学校音楽科

ア 検査内容

- (ア) 聴音記譜（全受験者）  
簡単な旋律を聴いて，五線譜に書き取る。
- (イ) 新曲視唱（全受験者）  
当日指定する簡単な旋律を楽譜を見て歌う。
- (ウ) 専攻別課題（全受験者）  
専攻したい部門別に課題を行う。（下記ウ 専攻別課題参照）
- (エ) ピアノ課題（声楽，弦・管・打楽器，作曲の専攻部門を希望する者）  
任意のピアノ曲又はハノン 39 番の中から任意の長調の音階をピアノで演奏する。（楽譜を見てもよい。） 繰り返しは省略。終止形をつけて終わりにする。

イ 携行品

- (ア) 受験票
- (イ) 筆記用具
- (ウ) 演奏用楽譜
- (エ) 専攻の楽器（ピアノ，コントラバス，ハープ及びマリンバを除く。ただし，弓，マレット類は持参すること。）
- (オ) 昼食及び上履き

ウ 専攻別課題

専攻部門	楽 器	課 題 曲 及 び 課 題
声 楽		コンコーネ 50 番より任意の 1 曲を，階名または母音アで歌唱する。（暗譜）
ピ ア ノ	ピアノ	(1) ハノン第 39 番のシャープ，フラットそれぞれ 2 個までの同一調号による長調と短調について，暗譜で演奏する。なお，調は当日指定する。弾き方は繰り返しを省略し，短調については，和声短音階を 1 回弾いた後，続けて旋律短音階を 1 回弾き，終止形をつけて終わりにする。 (2) モーツァルトまたはベートーヴェンの任意のピアノ・ソナタの第 1 楽章か最終楽章を暗譜で演奏すること。（ただし，緩徐楽章を除く。）
弦	ヴァイオリン	(1) カール・フレッシュ スケール・システムより「5 番」の基本形のみ。（任意の調性）ポーイングは C dur と同様に。 (2) A 又は B を選択する。 A：モーツァルト協奏曲の中から任意の曲の第 1 楽章 B：任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。）
	ヴィオラ	(1) ト長調（Gdur）の音階を 2 オクターブ (2) 任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。） ヴァイオリンで受験する場合 (1) 二長調（Ddur）の音階を 2 オクターブ (2) 任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。）
管	チェロ	(1) ト長調（Gdur）の音階を 2 オクターブ (2) A 又は B を選択する。 A：ドッツァウアー又はリー程度の練習曲集より任意の 1 曲 B：任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。）
	コントラバス	(1) 変ロ長調（B dur）の音階を 2 オクターブ (2) 任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。あるいは練習曲でもよい。）
打	ハープ	任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。あるいは練習曲でもよい。） アイリッシュハープで受験してもよい
	フルート	(1) シャープ・フラット 2 つまでの長音階を 2 オクターブ。調は当日指定する。 (2) ケーラー「35 の練習曲」第 1 巻より任意の 1 曲を選択する。
楽 器	オーボエ	(1) 二長調（Ddur）及びロ短調（h moll）の音階を 2 オクターブ。ただし，短調は和声短音階とする。 (2) ヒンケ「基礎教則本」より「9 番」（p.9），「14 番」（p.11）及び「17 番」（p.12）の中から 1 曲を選択する。
	クラリネット	(1) シャープ，フラット 2 つまでの長音階を 2 オクターブ。調は当日指定する。 (2) ローズ「32 の練習曲」より「1 番」から「10 番」の中から任意の 1 曲を選択する。
	ファゴット	(1) ヘ長調（Fdur）又は二長調（D dur）の音階を 2 オクターブ。調は当日指定する。 (2) ワイセンボーン「50 の練習曲」第 2 巻より「2 番」及び「3 番」の中から 1 曲を選択する。
	サクソフォン	(1) 二長調（Ddur）及びロ短調（h moll）の音階を 2 オクターブ。ただし，短調は和声短音階とする。 (2) ラクール「50 の練習曲」第 2 巻より「26 番」または「33 番」の中から任意の 1 曲を選択する。

専攻部門	楽器	課題曲及び課題
弦・管・打楽器	ホルン	(1) へ長調 (Fdur) 及び二短調 (dmoll) の音階を 1 オクターブ。ただし、短調は和声短音階とする。 (2) マキシム・アルフォンス 練習曲 第 1 巻より「1 番」、「9 番」及び「14 番」の中から 1 曲を選択する。
	トランペット	(1) 変口長調 (B dur) の音階を 1 オクターブ半 (B-F) (2) アーバン「金管教本」第 2 巻より「5 番」 Variations on a song (The Beautiful Snow) の主題及び第 1 変奏曲
	トロンボーン	(1) へ長調 (Fdur) の音階を 2 オクターブ (2) 任意の楽曲(多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。あるいは練習曲でもよい。) バス・トロンボーンはチューバと同一課題
	ユーフォニアム	トロンボーンと同一課題
	チューバ	(1) へ長調 (Fdur) の音階を 2 オクターブ (2) ボルドーニ「4 3 のベル・カント・スタディー」より「1 番」及び「2 番」の中から 1 曲を選択する。
	マリimba	(1) シャープ・フラット 2 つまでの長音階を 2 オクターブ。調は当日指定する。(上昇下降し、最終音はトレモロにする。) (2) 任意の練習曲又は独奏曲
	スネアドラム	(1) ロール打ちで pp から ff までのクレッシェンド・デクレッシェンド(10 秒以上演奏すること。) (2) 網代景介/岡田知之「小太鼓 100 曲集」より「12 番」及び「15 番」の中から 1 曲を選択する。
作曲	(1) 和音聴音(三和音) (2) 楽典(中学校の教科書で扱うもの。) (3) 当日提示する簡単な旋律の変奏曲を作る。	

#### 注意

- (1) 声楽については、入学願書提出時に伴奏楽譜を提出する。高声・中声・低声のいずれの楽譜を使用してもよい。
- (2) 声楽以外は、伴奏を付けずに演奏する。
- (3) 繰り返しは行わない。
- (4) 音階は暗譜で演奏すること。
- (5) 楽譜について、特に版の指定のないものについては自由とする。

### 〔5〕 笠間高等学校美術科

#### ア 検査内容

水彩絵の具による静物写生をする。

#### イ 携行品

- (ア) 受験票
- (イ) 鉛筆(2~3本[HB~5Bのいずれか])、消しゴム又は練り消し
- (ウ) 水彩用具一式(絵の具は透明・不透明絵の具及びアクリル絵の具とする。ポスターカラーは不可とする。)  
画用紙及び画板は、笠間高等学校で用意する。
- (エ) 上履きを持参すること。
- (オ) 昼食(一般入学(2月27日実施)は除く。)

### 〔6〕 取手松陽高等学校美術科

#### ア 検査内容

水彩絵の具による静物写生をする。

#### イ 携行品

- (ア) 受験票
- (イ) 鉛筆(2~3本[HB~5Bのいずれか])、消しゴム又は練り消し
- (ウ) 水彩用具一式(絵の具は透明・不透明絵の具及びアクリル絵の具とする。ポスターカラーは不可とする。)  
画用紙及び画板は、取手松陽高等学校で用意する。
- (エ) 上履きを持参すること。
- (オ) 昼食(一般入学(2月27日実施)は除く。)